

囲碁入門講座通信 令和5年 第55号



報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。

(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

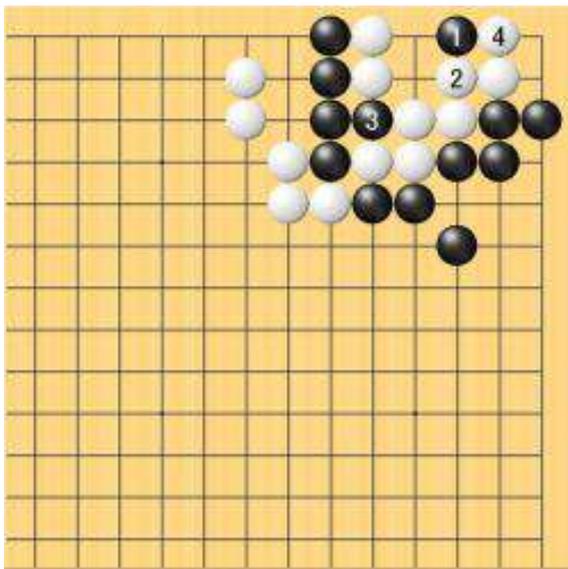
今号でも 直観力とヨミの精度を鍛える詰碁問題をご案内したいと思います。

(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

手筋問題 攻防の手筋と攻め合いの手筋。読み抜く力をつける 白と黒の石が切り結んでいるとき、その要の石を含む一団を取るか取られるかは、勝敗を決しかねない大きな問題です。ここではそんな中盤の攻防、攻め合いに強くなるための手筋問題を6題ほど用意しました。最初の3問は、切り結んだお互いの石が取るか取られるかの攻防、後半の3問は相手の死活が絡む攻め合いの問題です。今号が最終問題となります。

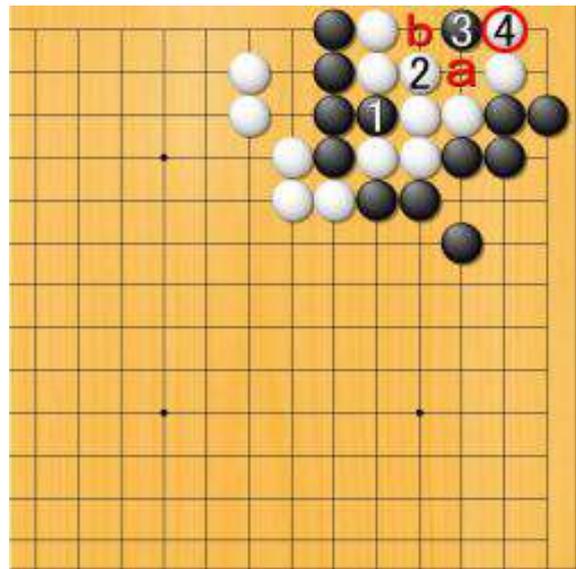
前号の続きです (問題は前号に載っています)

手筋問題 6 失敗



手筋をいろいろ覚えてくると、このような失敗を犯します。黒3のウツテガエシ狙いには白4。白の手数は4手で、攻め合いに勝てません。常識に反する(?)ように見える手が正解です。

手筋問題 6 正解



この形では、黒1と内ダメからツメるのが正しい。白2のツギには黒3と眼の急所に置き、白4には黒a、白b又キに再度の黒aで、白の手数は3手になります。白2でaには黒b、白2で、やはり同じようなことになります。

約3年間、ご愛読ありがとうございました。今号を以って休刊とさせていただきます。

囲碁入門講座の再開日途は立っていませんが、ミニサロン(毎月第一・第三月曜日 午後1時~)

囲碁コーナーは2月6日から再開されております。

朝日二丁目集会所和室で行っています。ぜひご参加ください。